

戦評用紙 2

大会名	第 21 回ヒロシマ国際ハンドボール大会
期日	2016 年 7 月 24 日
会場	広島市東区スポーツセンター
開始時刻	14 : 00 ~
種別	女子
対戦チーム	日本代表 対 SK オーフス

戦評

SK オーフスのスローオフで始まったこの試合、コートを広く使った素早い攻撃から日本代表 14 番横嶋の得点で先制する。試合開始直後から SK オーフスはキーパーとコートプレイヤーを交代し、7 人攻撃を見せるも、日本代表の堅い守りに阻まれ、前半 10 分で 8-3 と日本代表が大きくリードする。しかし、ここから SK オーフスは高さを活かした力のある攻撃で、前半 15 分に 8-7 まで点差を縮める。ここから日本代表の素早いフットワークと SK オーフスの体格を活かしたディフェンスがともに機能し、一進一退の攻防を続け、前半を 15-12 の日本代表リードで終えた。

後半開始早々、お互いに速攻を主体とした攻撃で得点を重ねる。SK オーフスは身長 192cm 左利きの 14 番ランボーのロングシュートで得点を重ね、一方日本代表もポストを絡めた堅実な攻撃で追撃を許さない。後半 20 分が経過しても 26-23 と点差の変わらない展開が続いていたが、日本代表 36 番山根の好セーブにより徐々に点差を広げていく。SK オーフスは終盤再び 7 人攻撃を仕掛けるも及ばず、最終的に 31-26 で日本代表が勝利した。